

議 第 3 号 議 案

国民健康保険税引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書の提出
について

国民健康保険税引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書を別紙のとおり、
富士見市議会会議規則第13条の規定により、提出します。

平成31年3月13日提出

富士見市議会議長 尾 崎 孝 好 様

提出者 富士見市議会議員 寺 田 玲

賛成者 同 根 岸 操

提 案 理 由

国民健康保険税引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書を地方自治法第99
条の規定に基づき政府に対して提出するため、この案を提出します。

国民健康保険税引き下げのため国庫負担の増額を求める意見書

国民健康保険制度は、国民の4人に1人が加入し、国民皆保険の医療制度の重要な柱になっている。しかしながら、国民健康保険税の滞納世帯が全加入者の15%を超えるなど、国民健康保険税の重い負担に市民が悲鳴をあげている。

国民健康保険の加入者構成（市町村国保に全国で約3,500万人）は、かつては7割が「農林水産業」と「自営業」従事者であったが、今では、43%が年金生活者などの「無職」、34%が「非正規雇用」などで、合わせて8割近くになっている。

昨年、約3,400億円の財政支援が行われたが不十分であり、国民健康保険加入者の貧困化・高齢化等が進む中で、国民健康保険税に対する負担はますます重くなっている。

国民健康保険税が高くなる要因の一つに、世帯の人数を算定基礎とする「均等割」がある。世帯の人数が保険料に影響するのは国保だけで、各世帯に定額でかかる「平等割」と同様、他の保険にはないものである。「均等割」と「平等割」を合わせると、全国で徴収されている国民健康保険税額は、およそ1兆円とされている。

全国知事会・同市長会・同町村会においては、国民健康保険の定率国庫負担の増額を政府に要望し続けており、2014年には、公費を1兆円投入し、「協会けんぽ」並みの負担率にすることを政府・与党に求めている。1兆円の公費投入で「協会けんぽ」並みの国民健康保険税とすることが可能である。

よって、富士見市議会は、政府に対し、国民健康保険税引き下げのため、国庫負担を増額することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成31年3月 日

埼玉県富士見市議会

内閣総理大臣	安 倍 晋 三 様
財 務 大 臣	麻 生 太 郎 様
厚生労働大臣	根 本 匠 様